

捕とりわれたからだ

たか やま と
高山ねむ子

ゆうかく
遊廓の檻おり



はつみ!!



このやろ



なに
しゃがんだ





おい待て!!

150



助けてくれて
ありが！…



いくぞ！！

こいつに
手をだしたら
まずい！！



あつ
あの…



バカ！！

なんで
こんなところに
ひとりできた！！

あ
会うときの
場所は決めて
あっただろ！！

!?





あいつが

こんなところへ
くるわけがない



早く
この街からでろ

でないとおな
また同じ目に
あうぞ



待^まって

璃^り乃^の

お願^{ねが}いです
助^{たす}けてください!!

私^わ—
どうしていいか
わからないんです!!

どうやって
ここへきたのかも
帰^{かえ}る道^{みち}も
なにもかもぜんぜん
わからなくて

ばさ

それ被^{かぶ}ったまま
ついてこい

まさかとは
思^{おも}うけど――

一瞬^{いつしゆん}重^{かさ}なつて
みえたの



夢ゆめのなかのあの人ひとが……

やっぱり
これは夢？

だってすべてが
わからない
ことだらけで

そう思おもって
しままっても
いいの？

でも——
もしそのなかで
ひとつでも信まじて
いいものが
あるなら

もしかしたら
この人ひとが……って……

着きいたぞ

す……

か？